



TITLE:

國民經濟的概念と經營經濟的概念

AUTHOR(S):

尾上, 忠雄

CITATION:

尾上, 忠雄. 國民經濟的概念と經營經濟的概念. 經濟論叢 1940, 50(5): 648-653

ISSUE DATE:

1940-05

URL:

<https://doi.org/10.14989/131380>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

叢論經濟

號五第 卷十五第

月五年五十和昭

論叢

維新前後の開化思想……………經濟學博士 本庄榮治郎

限界生産力説と勢力の問題……………文學博士 高田保馬

時論

非常時局下に於ける日支の態勢……………經濟學博士 石川興二

研究

販路説の過剩投資説への發展……………經濟學士 青山秀夫

理想型の理論……………經濟學士 出口勇藏

アウグスチヌスの共同體思想……………經濟學士 澤崎堅造

說苑

蒙疆の人口と農業……………經濟學士 菊田太郎

國民經濟的概念と經營經濟的概念……………經濟學士 尾上忠雄

支那に於ける理想郷思想……………經濟學士 穗積文雄

附錄

彙報

外國雜誌論題

國民經濟的概念と經營經濟的概念

尾上忠雄

この小論は Guido Fischer: Zur Gegensätzlichkeit volkswirtschaftlicher und betriebswirtschaftlicher Begriffsbildung の紹介である。

一

ナチスの國家的經濟運営はブロック思想 (das Raumdanken) を生んだ。明かに他の世界經濟に對し自らを隔離、遮斷せる獨自の合法則性を以て、一個の確固たる自適經濟ブロックが生れた。勿論世界經濟との結付きは必然であるが、併しその結付きたるや、最早個々のもの自體に自由に放任、解放されるのではなくて、これ等の主動權は國家の經濟政策の指示と了解とに結合してゐる。かくの如き仕方にて國民的ブロック體

- 5) 拙稿、北支洪水の原因と舊政權の治水事業 (昭和高商研究部報、第六號、1頁以下)。
1) Die Betriebswirtschaft. 1938, Hft 10. S. 236-239.

済にまで統一結合が生成したのである。

かゝる國家的に運営された經濟體は多くの事象に於て一個の大經營に似てゐる。コンツエルン・トラストの如き經營結合形態は既に早くから同様の根本法則に従つて活動して來たのである。自明のことではあるが、この比較の場合、かゝる結合形態の資本構造や資本編成に就て、又、それ等が何の程度迄私經濟的に、或は國民經濟的に指導されてゐるか云ふ經濟政策の目標に就て考へてはならない。さうではなくてこの場合は唯々統一的な經營處置、決算統制等の經營内の推移 (Fortbewegungen) に就てのみ考へねばならない。

それ故に國民的ブロック經濟の此の國家的に運営せられたる經濟體に對しては、今や、多くの事象に於て、本來は個別經營或は經營的結合に於てのみ妥當したる所の經營經濟的な認識や基本法則が妥當する。故に國民的ブロック經濟は國民經濟的認識を以て解明し指導さるべきのみならず、經營經濟的認識をも必要とする。

併しそれに依つて、一般經濟事象は單に國民經濟的な表現及び概念を以てだけではなくて、經營經濟的な表現及び概念を以て説明さるべき必然性が起つて來る。併し遺憾なことに經營經濟的概念は多くの點に於て國民經濟的概念と喰違つてゐる。國民經濟的概念が一般的經濟認識から演繹的に展開せられたるに反し、經濟實踐は國民經濟學の是等の理論的經濟概念に就て多くを知らず、また其所では經營現象の解明は問題にならなかつたから、それを以て殆んど始めることが出来なかつたのである。而して斯様な事情から經濟實踐は部分的にのみ國民經濟的概念と一致するが、極めて屢々之に對し異なる意味をもつ所の独自の概念を形成してしまつたのである。實踐の經濟概念はその際殆んど常に經營會計の地盤の上に發生した。それこそ正に一般的に解明さるべきであるのに。經營經濟學はこの經濟實踐の概念を繼承したのである。それは先づ特に問題にし完成しつゝある經營會計と實踐の要求との一致を保つために、これ等の實踐の言葉の構成を以て行は

れねばならなかつた。併し後に至つて、一の商業技術の是等の單純な端緒から經營經濟學がその獨立の理論的問題を以て構成されるやうになると、一度存在せる經濟概念がその爲めに取り上げられ更に展開されねばならなかつた。かくて經營經濟的基本概念が屢々國民經濟的基本概念と喰違ふと云ふことになつた。

二

このことは唯だ一の例、資本概念だけで示されるだらう。國民經濟的資本概念は、より廣義の上位概念たる國民經濟的財産の意味する。即ちそれは國民經濟的財産が兎に角生産的に制定されてゐることを示すべきである。かゝる前提に焦點が合ふ限り、更に生産資本、金融資本等の如き下位概念が見出される。前提が選ばれる度毎に資本概念に該當する財産價値の區分はそれに従つて異なる。かくて種々なる國民經濟的資本學說が発生する。經營經濟的資本概念は之に反して會計から由來した。會計は年度貸借對照表に於て貸方

側に自己資本を見出した。²⁾ 理論的概念形成が敷衍すると間もなく貸方側全部が資本と認められ、その結果自己資本と他人資本の概念が生じた。經營經濟的資本概念は従つて企業に於ける出資者の法律的地位の問題、即ち資本調達の問題を明かにせんとするのである。

國民經濟的概念たる資本は反之經營經濟的財産概念に相應する。財産は貸借對照表の借方側に於て證明され、而して種々な出資者によつて企業へもたらされた貨幣が、企業によつて如何なる仕方にて財貨的に利用されてゐるかを示す。即ち、建物、機械、原料、豫備金等々として。かくて、經營經濟的資本概念が國民經濟的資本概念と一致せずに、經營經濟的財産が、それに對し經營的範圍が問題になる限り幾分か國民經濟的資本に對立せしめられる。

經營からこの經濟實踐的な概念形成の影響を除去することは國家と雖も不可能であつた。國家は經營事象に關與しなければならぬ場合には常に經營的な従つて經營經濟的な概念を使用した。

2) Schär-Prion, Buchhaltung und Bilanz, 6 Aufl. 1932.

3) Nicklisch, Die Betriebswirtschaft, 7 Aufl. 1932.

多くの經營經濟學者は國民經濟的資本概念に對する矛盾をなくする爲に、貸借對照表の借方側をも資本、特に營利資本 (Gewerbkapital) なる表現を以て表はした。併し乍ら、財産的營利資本に貸方的財務資本を對立するこの經營經濟的公式化を以てしては概念統一は促進されてゐない。と云ふのは、經營經濟的資本概念の經營に結付いた適用範圍は、國民經濟的資本概念の全く異つたものと見るべき國民經濟的範圍には決して到達し得ない。何となれば國民經濟は決して當該經營經濟の單なる合計ではないからである。概念同化のこの經營經濟的な理論的試みは其上決して經濟實踐からは協力されなかつた。實踐は依然としてその概念たる借方及び貸方、若しくは財産と負債——これに對しては自己資本と對照して他人資本とも云はれる——の側に留つた。

三

經營經濟的概念と國民經濟的概念とのこの並立は、

國民經濟的概念と經營經濟的概念

ナチスの國家的經濟運營の際に新に成立したブロック經濟によつて、新たな經營經濟的任務がこのブロック經濟の中に生じ、従つて國家的經濟政策の對象となつた時にも残存してゐた。加之、多くの經濟實際家達がナチスの權力を擔當して黨の役員になつた。併し是等の經濟實際家達には彼等の従前の實踐的經濟範圍の經營經濟的概念が多く知られて居り、反之、同じ意味でない或は異つた性質をもつ國民經濟的概念は餘り知られて居らなかつた。是等の經濟實際家達が彼等の新しい經濟政策的な仕事に携はらねばならなかつた時に、彼等は殆んど彼等にはよく知られてゐるが國民經濟にとつては屢々未知であり、また幾分異つた意味をもつた所の經營經濟的概念を使用した。

加ふるに新しいドイツの經濟政策は當初から意識的にブロック經濟を強調した。そのために併し同時に、再び全經濟の經營經濟的問題が発生した。この經濟政策を運營する經濟實際家がそれ故に自明の如くに之を表はすに同じ或は類似の經營事象に相應する概念を以

てしたることは極めて自然で且つ現實に近いやうに思はれる。

然し乍らこのことは往々國民經濟學者には知られてゐない。彼は同じ新しい問題を見た、併し彼は彼の概念領域から彼に慣用の表章を以て見たのである。而してその時彼は率然として、他人が同じ事象を彼の慣用の概念を以て表はさずに、他人が之を彼にとつてはこの適用範圍に於ては不可能なる概念を以て仕事するために使用してゐることを認めた。人が相互に最早理解し合なかつたと云ふことよりも、一人が他人に不正確なる概念を以て仕事をし、或は近代的に考へないと云つて非難することの方が急であつた。然もすべてが正しいと思はれ、始つたバビロンの用語混亂のため彼等自身は最早理解するどころではない。

四

この論文は右の適例として節約 (paren) の概念を説明したる後、次の如く結ばれてゐる。上述せる所は當

然國民經濟的及び經營經濟的概念形成の問題を證明し或は猶更解決するものではない。また、經濟實踐、經濟文獻及び經濟指導に於て、種々なる概念設定によつて生ずる誤解を除くものでもない。上述せる所は寧ろ唯々相互に同じ經濟概念を以て理解し合ふことが、何故外見上今日屢々極めて困難に見えるかと云ふ原因を示したに過ぎない。

あとがき

從來經營學の領域に於ける諸概念が甚だ明確さを缺き互に混雜して居るのみならず、同一の言葉で以て表はされる國民經濟學に於ける諸概念とも屢々矛盾したことは周知のことである。フイツシャーの此論文は必ずしも學問的な概念のみを問題にしてゐる譯ではないが、之によつてかゝる概念の矛盾、混亂が未解決のまま、更に別途の新しい展開を示さんとしてゐることが知られる。然らば此の問題は如何に解決さるべきであるか。學問的な概念を問題にする限り次のやうなこと

- 4) 從來の國民經濟學に於ては、節約の概念は貨幣に就てのみ適用されたが、今や經濟四ヶ年計畫を通じて凡ゆる種類の財貨にまで (經營經濟的に) 擴大された。

が注意さるべきではあるまいか。

即ち、従來の如く、單に同じ言葉や文字によつて表はされる概念を寄集めて、抽象的にその異同を論ずるのではなくて、少くとも、それ等の概念が如何なる理論體系の必然的結果として規定されなければならないかを明かにすると同時に、それ等の概念を用ひて問題を展開する所の個々の學問的性質を明確に規定しなければならぬ。かくして初めて、それ等の概念の内容そのものが違ふのか、また概念によつて表はされる實體は同じであるが問題になる面が違ふのか、又違ふとすれば如何に違ふのか、等が明かになるのではあるまいか。